



## 身のまわりから...

字が多いけど  
読んでください

新しい年を迎え、速いもので1ヶ月が過ぎました。身のまわりのことから3年生を連想しているなことを考えました。まず、ある習字教室の先生から学んだことです。先生は、数人の生徒からの要望で書きそめの練習を夜10時まで指導していました。生徒のために食事も取らずに必死になる姿に感動するとともに本気なんだなぁと思い、見習わなければと思いました。また、先生もすごいけど、先生をそこまでさせる生徒の情熱もすごいと思いました。人の思いは、人を動かすんですね。習字教室には、『**人見るもよし ひと見ざるもよし 我は咲く**』という言葉が飾ってあります。「周りに気をとらわれず、自分の信じた道を進み、夢を叶えよう」という強い意志があると思いました。

寒さ厳しく、雪が積もる中、サザンカの花がとても美しく、赤々と燃えるように咲いていました。今の自分を思いっきり主張しているように思えました。そんなサザンカに負けない、あなたにしか咲かせることができない花を咲かせてほしいと思いました。

金曜ロードショーで『千と千尋の神隠し』を見ていたときです。(ごめんね、君たちは勉強しているのに…☹)『千と千尋の神隠し』には、いい言葉がたくさんありました。まず、爺爺が千尋を雇うときに『**手出すなら終いまでやれ**』と千尋に言います。「やり始めたことは最後までやれ」というのです。簡単そうなことですが、なかなかできないことでもあると思います。やり始めは良くて、月日が経つとついつい初心を忘れてしまいがちです。「三日坊主」という言葉もあるように、物事を続けるということはたやすいことではないようです。しかし、やり通したからこそ得られるものがあります。みなさんは夢に向かって走り出しています。最後まで走り抜きましょう✿



錢婆の言葉にもいいものがありました。千尋に向けて、『**自分の名前を大事にね**』という言葉がありました。私にも経験があるのですが、子どもの名前を決めるのはとっても大変なのです。漢字の意味を考えたり、字画を考えたりなどいろいろと悩み、ありったけの思いをこめて決めました。きっとみなさんのお家の方も同じだと思います。だからこそ、自分の名前は大事にしてほしいと思いました。テストで名前を書いたり、願書に名前を書いたり、名前を書く機会は多くあります。自分の名前にこめられた思いを噛みしめながら書いてみてはどうでしょうか。



卒業式の練習が始まりました。名前を呼ばれての返事も同じだと思います。しかしまだ、名前に誇りがある返事だとはいえないように思います。人生で初めてもらったプレゼントである自分の名前に誇りをもってください。そして、卒業式では、今までにはないすてきな返事✿を体育館いっぱいに響かせてほしいと思います。お家の方もきっと、その返事に、みなさんの成長を感じるのではないのでしょうか✿

2月が始まったということは、卒業にまた1歩近づいたということでもあります(残すところ、30日余り)。月日はあっという間に過ぎてしまいます。悔いを残すことなく巣立つことができるように、一日一日を大切に過ごしていきましょう。そして、後輩の目標となる先輩になり、玉川中の新たな1ページを築いて下さい。皆さんのこれからの活躍に期待します。

このように、いろいろなことを考えてスタートした3学期。私たち教員も後悔のない、そして少しでもみなさんの力になれる月日にしていきたいと思います。私たちにとっても、忘れることができない年(3月)になるように走りきろうと思います。